

「写真の町」情報館

INFORMATION

「写真の町 東川賞海外作家コレクション展」開催

東京都内で東川町の宣伝活動を展開します。
都内近郊にお住まいの親戚・知人などの情報をお寄せください。

写真の町20周年を記念して、6月1日～18日まで東京都写真美術館で「写真の町 東川賞海外作家コレクション展」を開催いたします。

東川賞コレクションは、東川賞受賞者から町に対して作品を毎年寄贈いただいているもので、文化ギャラリーに収蔵している作品は1,700点を超えています。

特に海外作家の寄贈作品は、町外未公開の作品が多く、貴重なコレクションとなっていることから、日本写真協会などが主催する東京写真月間2006の一環として広く作品を公開し、町の取り組みや産業などの宣伝を行うこととしています。

また、この写真展の時期にあわせて東京八重洲地下街では、6月1日～7日まで東川町観光協会などが中心となって、観光キャンペーンを展開します。

どちらの催しも多くの方々にご来場いただくため宣伝活動を進めていますが、町民の皆様からも都内近郊にお住まいの方や会社などの情報提供をお願いいたします。ご紹介先には「海外作家コレクション展図録引換券」とともに案内状を事務局より送付させていただきます。

<情報提供・お問合せ>

東川町文化ギャラリー内特別対策室

(☎ 82-2111・FAX 82-4704)



八重洲地下街観光キャンペーン

チュブペツの軌跡写真展、 シンポジウムを開催しました！

東川町の開基110周年記念事業の一つとして、平成18年度に完成する忠別ダム周辺の歴史・自然などを綴った「チュブペツの軌跡写真展」を3月30日まで開催しました。

また、青少年の健全育成と東川町の歴史の継承を目的に3月22日に町内の小学生を対象としたチュブペツの軌跡を語るシンポジウムを写真展にあわせ実施しました。

講師には忠別ダムの水没地域に在住していた矢沢マスエさんを迎え、子供時代には忠別川でもサケが遡上してきたことや、熊がたびたび出没したことなど、昔の暮らしぶりを語っていただきました。

集まった約60人の子どもたちは当時の貴重な話に熱心に耳を傾けていました。



シンポジウム

藤井秀樹様から写真を寄贈いただきました。

(社)日本広告写真家協会会長を歴任した藤井秀樹様から写真を寄贈いただきました。

今回の作品は1965～1975年にかけて撮影されたものでストロボが普及する以前のたいへん貴重な作品です。

寄贈いただいた作品は東川町文化ギャラリーにて永久収蔵し、町民の皆様にご公開いたします。

